

グリーンスローモビリティを用いた地域主体交通の視察報告

1 視察の目的

本市では公共交通の利用が不便な地域への対応の1つとして、路線バスを補完し、「地域内を巡回し、最寄りのバス停とをつなぐことにより、地域の円滑な移動手段を確保する交通」として、地域の実情に合わせた形でのコミュニティ交通の導入を目指しています。

このたび、先進事例として東京都葛飾区で実施している、グリーンスローモビリティを用いた地域主体交通を視察しましたので、報告いたします。

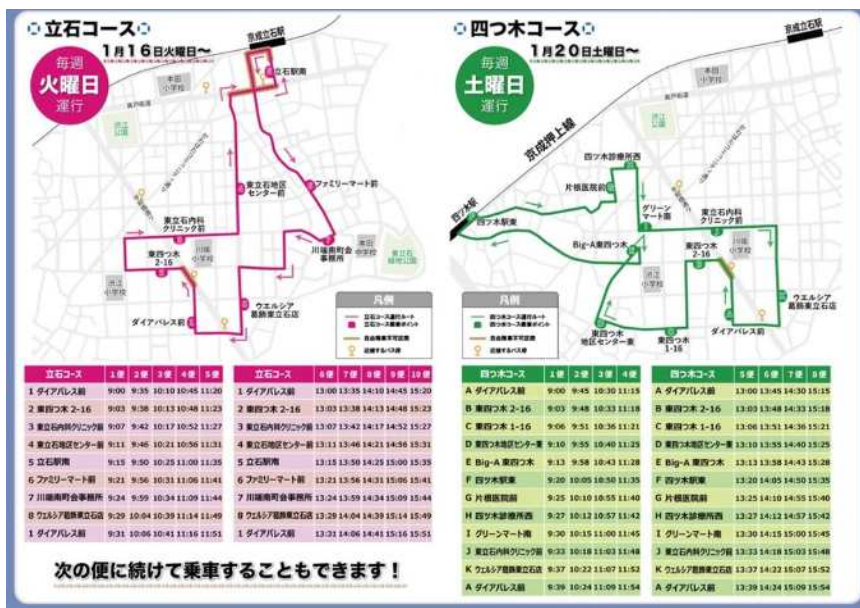
2 使用する車両について



車両メーカー：株式会社タジマモーターコーポレーション
 車両名：TAJIMA NAO-6J
 大きさ：4050 ミリメートル×1500 ミリメートル×2300 ミリメートル（全長×全幅×全高）
 乗車定員：8名（運転席含む）
 充電時間：7～10時間
 満充電走行距離：80km（エアコン切時）

3 運行の概要

- ・地域住民で構成された東立石グリスロ運営協議会に葛飾区が車両（1台）を無償貸与。地域がルートやダイヤの設定、運転手の確保等を行い、週に2日運行を実施。（ルート、ダイヤについても地域で決定）
- ・運賃は無償
- ・令和5年10月4日から実証運行を開始し、令和6年1月16日にダイヤ改正（運行ルート、運行曜日の変更）を実施。



（葛飾区ウェブサイトから引用）

4 区と地域組織の役割・費用分担



(葛飾区ウェブサイトから引用)

- ・グリーンスローモビリティ車両は普通自動車免許で運転が可能であり、地域内にある自動車教習所で実車両を用いた安全講習会を実施しています。